

課題

経済再生に向けた成長による富の創出

ICTによる貢献

Mission—使命

「元気」を創る！
M2M・ビッグデータの利活用による新産業の創出

Vision—目標

- I. データ活用を中核とする新ビジネス・仕組みの確立
- II. 日本らしさを活かした国際競争力の強化
- III. 生活・経済活動を支えるデータの社会インフラ化

取組の方向性

- ◆ICTコトづくりプロジェクトの推進（事業化支援、安全性・信頼性確保等）
- ◆新たな産業の創出に向けた環境整備
- ◆社会インフラとしてのデータ基盤の強化

背景

社会・経済構造の変化

- ライフスタイルの多様化
- 日本経済の低迷。振興国の伸長

ICTの進化

- M2Mの広がり
- クラウド、モバイルの普及

情報活用の進展

- センシングデータ、位置情報
- オープンデータ

社会課題の顕在化

- 超高齢社会の進展
- エネルギー需要拡大

先行事例

- Industrial Internet (GE)
- KOMTRAX (コマツ)

考え方

ICTコトづくりとは、利用者視点に立ってICTを利活用することにより、イノベーションを創出する新たなビジネス・仕組みの構築

社会イメージ

『ICTによって生活者・企業・行政・社会がつながり、データが新たな価値を生み出す持続的な成長が可能な社会』

データの社会インフラ化

- 各種データの特性に応じた利活用の在り方の最適化

新たな産業の創出

- M2Mで流通するデータの活用等を中核とした新たなビジネスモデル

企業競争力の強化

- 我が国が強みを有する分野でのデータ利活用の促進

社会課題の解決

- データの分析・解析、結合による従来とは異なるアプローチ

推進プロジェクト

体系化・類型化

- ICTコトづくりの効果等に着眼して整理。
例：課題解決、サービス開発、技術革新等
- サービスイメージ、対象、市場創出効果等の発展の方向性を提示。

ICTコトづくりプロジェクトの推進

- ・特定地域での社会性のある新しいアイデアの事業化
- ・M2Mにおけるデータの利活用の安全性・信頼性の確保・向上

等

新たな産業の創出に向けた環境整備

- ・データを活用した新ビジネスの立ち上がりの活性化に向けたインキュベーション機能の強化
- ・データを活用したアイデアを新ビジネスに結びつけることができる人材の育成
- ・新ビジネスの裾野の拡大に向けた産官学が連携して共創できる場の構築

等

社会インフラとしてのデータ基盤の強化

イノベーションの創出に向けた官民における適切なデータの利活用の在り方

等

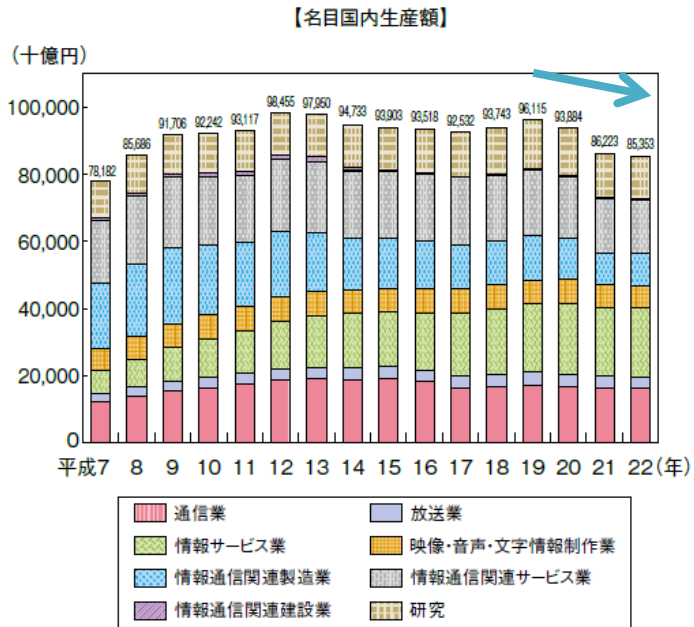
ICT産業の成長の鍵は「課題解決型イノベーション」にある

課題解決型イノベーションの加速化のための基盤環境整備を行うべき 野村総合研究所 谷川

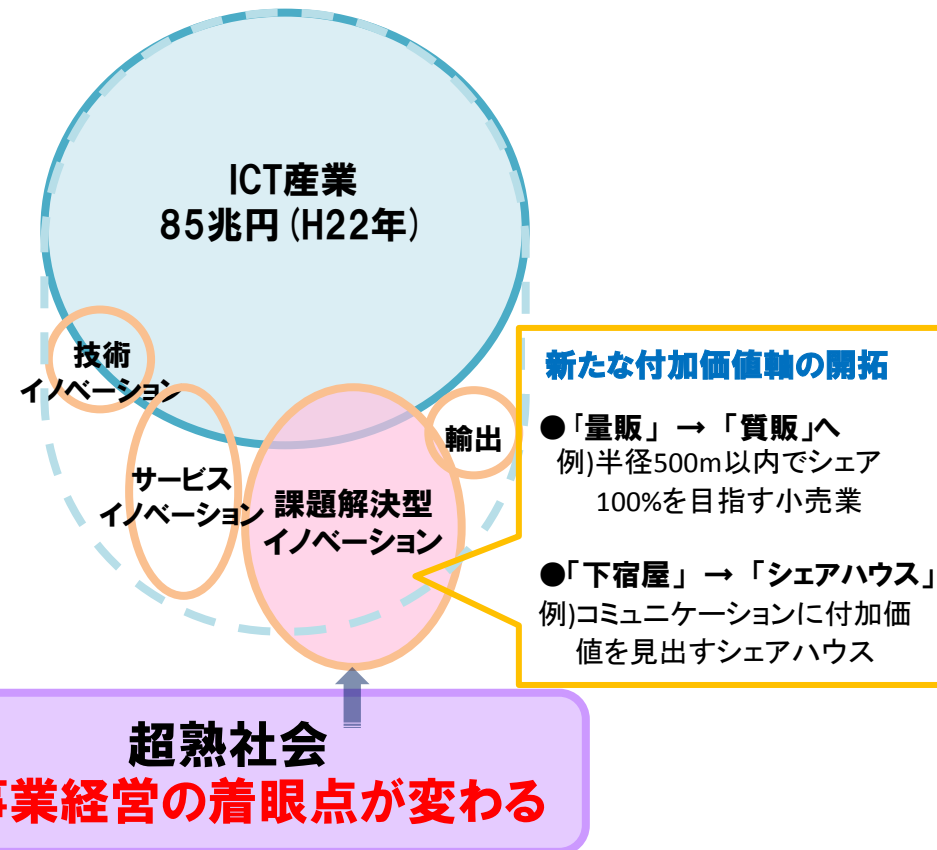
- ICT産業の名目国内生産額は、近年右肩下がりの傾向。増加部分はハードからサービスへ
- 日本経済の再活性化の要としての期待は大きい

- ICTを活用した新たな付加価値軸の開拓が産業のすそ野を拡大
- 課題解決型イノベーションの創出に向けた環境整備が必要
例) スタートアップインキュベーション機能の育成
新たな付加価値創造に向けたデータ活用の指針策定

ICT産業の市場規模



課題解決型イノベーションによるICT産業の拡大



出所) 平成24年版情報通信白書